PPE 着用について

・COVID-19 を疑う患者に接する際は、サージカルマスクの着用が推奨されます。
・その他の個人防護具は標準予防策に基づき、感染リスクに応じて選択します。
・N95 マスクは、フィットテストを用いて適切なマスクを選定し、着用にあたってはユーザーシールチェック(両手でマスクを覆い息を吸ったり吐いたりして空気の漏れを確認)を毎回行ないます。
・流行期、および非流行期で PPE の対応は変えません。
・外来、および入院における PPE 対応の具体例を示します。

	サージカルマスク	N95 マスク*1	手袋*2	ガウン*2	眼の防護*3
診　察	○	△	△	△	△
呼吸器検体採取	○	△	○	△	△
エアロゾル産生手技	-	○	○	○	○
環境整備 (配膳・リネン交換・清掃など)	○	△	△	△	△
患者搬送	○	△	△	△	△

○=通常は着用を推奨
△＝原則不要。曝露リスクがある場合に着用を推奨(欄外＊1～3 参照)

*1 COVID-19 患者と同一空間で診療・看護・介護を行う場合は装着を考慮
*2 患者、患者周辺環境(ベッドなど)との身体的接触や血液・体液汚染が生じない場合、手袋、ガウンは不要
*3 飛沫が眼に入るリスクある場合は眼の防護(アイプロテクション、フェイスシールド等)を着用

参考文献
Schoberer D, Osmancevic S, Reiter L, Thonhofer N, Hoedl M. Rapid review and meta-analysis of the effectiveness of personal protective equipment for healthcare workers during the COVID-19 pandemic Public Health Pract (Oxf). 2022 Dec;4:100280. doi: 10.1016/j.puhip.2022.100280.